

メッセ・デュッセルドルフ、ウクライナ避難民の受け入れ開始

メッセ・デュッセルドルフは、会場敷地内最大のホールをウクライナ避難民の宿泊施設として提供します。3月7日（月）、メッセ・デュッセルドルフはドイツ赤十字、デュッセルドルフ消防団とともに25,000㎡超のホール6に1,000台の簡易ベッドを設置し、午後遅くには利用が開始されました。ホール内は延べ2,500メートルの間仕切りで小部屋に仕切られています。

メッセ・デュッセルドルフ代表取締役社長ヴォルフラム N・ディーナーは「デュッセルドルフ市移住・統合局から依頼があり、快くお引き受けしました。設営日には、避難民の方々が一刻も早く宿泊できるようにと、出社していた社員の多くが自発的に手を貸してくれました。私たちは人々の辛い運命に心を動かされ、避難民の方々の窮状に深い衝撃を受けています。彼らを受け入れることは、私たちにとって当然のことです。」と述べています。

ホール6には専用の更衣室と40のシャワールームがあり、外付けの簡易シャワーブースも利用できます。食事はメッセ・デュッセルドルフのパートナーである Stockheim 社により提供されます。親族や友人と連絡を取り合い、ウクライナの状況を知ることができるようにと、フリーWiFiも提供されます。

全文（英語）は[こちら](#)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 e-mail: mdj@messe-dus.co.jp